

毎日早朝、町田駅で市政報告 日曜除き
13年連続

いつも市民とともに、考え、行動

私はこの4年間、現町田市政がねらう市民負担増や補助金削減、公共施設廃止の計画と対決してきました。

また、市議会の副議長に就任し、党派をこえて多くの市民のみなさんと交流してきました。

その中で改めて実感したのは、市民とともに学び、考え行動する大切さでした。市民が主人公の市政をつくるために、これからもぜひ市政で働かせてください。

町田市議会議員(7期)・市議会副議長

おはよう
ございます

とのむら健一

です

とのむら健一

検索

連日ブログ「早朝町田駅の間人ドラマ」更新中

日本共産党

安倍9条改憲ストップ!

くらし・福祉、 教育を壊す政治と ガチンコ対決



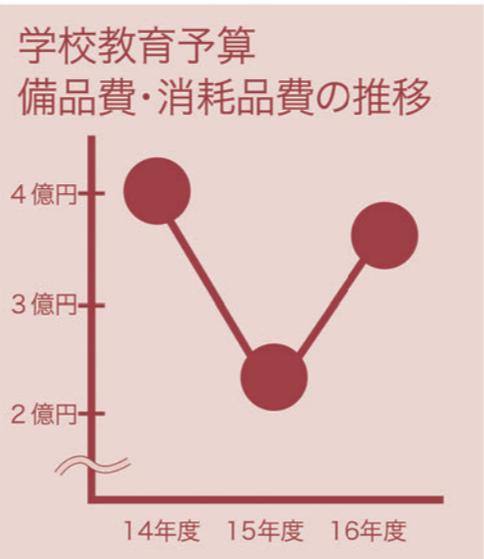
とのむら健一
早朝町田駅物語

市民生活の厳しさひしひしと…

とのむらさんが、毎朝駅で市政報告をしていると、多くの市民から相談が寄せられます。派遣社員をしているある女性は、収入が少ないため国民健康保険税が払えず、医療も受けられず、困りまわっていました。とのむらさんが市とかけあつて医者に行けるようにするなど解決しましたが、市民生活の深刻さを実感しました。

切り捨て、負担増計画をトコトン追及 いったん削られた予算の復活も

そうした市民生活の実態におかまひなく、現市長は、4年前に、市民への負担増や大切な補助金を削る計画をうちだし、進めてきました。



とのむらさんは、値上げ、予算削減計画を徹底追及。とりわけ学校の消耗品や備品の予算が大幅に削られ、「保健室の常備薬を買い控えている」、「紙の削減で学校だよりの回数を減らした」などの実態をつきつけました。そうしたなか、削られた学校教育予算を復活させることができました。

現市長、今度は 博物館の廃止など うちだす

さらに現市長は、下の表のように公共施設を大幅に廃止・縮小する計画を打ち出しました。どれも市民の暮らしや福祉、町田の教育などを支える施設です。

「町田市5カ年計画 17-21」に盛り込まれた公共施設再編の方向性 (直営 43 施設)	
文学館	→ 存 廃 の 決 定 (2018 年度)
博物館	→ 閉館 (2019 年度)
図書館、市民センター、コミュニティセンター、連絡所、ふれあい館など (複数ある施設)	→ 集約化、管理運営・事業の見直し
ひかり療育園、ひなた村、大地沢青少年センター、すみれ教室、生涯学習センター	→ 民間活力の導入など事業内容の見直し

博物館の存続へ 一日かけた議員視察が実現 施設存続を求める請願が採択へ

市民から、「博物館を廃止しないで」との請願が出されました。議会の委員会では、他党の議員から「埋蔵文化財を見たことがある議員はいますか」と発言が。そこで手をあげたとのむらさんは施設の見学を主張しました。とのむらさんは、大学では芸術学科を専攻、町田への愛着も人一倍強く、市内の文化や遺跡などにも詳しくかったです。

そこで、他党議員とも話し合い、市内の施設を一日かけて視察することになりました。そして町田の博物館の貴重さが議員の共通認識になり、請願は採択。文学館存続を求める請願も全会一致で採択されました。



これからも力をあわせ、福祉と
教育、大切な施設を守ります
——日本共産党 とのむら健一

学校の改善なら「とのむら健一」

20年以上前からとりくむ

とのむらさんは、20年以上前から、学校の予算が減られ校舎の補修ができずに荒れている問題に心を痛めていました。

机とイスの総取り替え

学校を訪問調査すると「机とイスが老朽化し、ささくれだって足にささる」という子どもから悲鳴が…。「なんとかしなければ」と、議会で実態をつきつけ改善を迫ったのです。その結果、古くなった机とイスの総取り替えが実現しました。

トイレをきれいに洋式化

臭い、暗いなどといわれたトイレの改修も今年度(17年度)で全ての学校できれいになり、洋式化されました。 **洋式化されたトイレ→**



教室へのエアコン設置

耐震補強工事や、普通教室へのエアコン設置を何度も要求し、いずれも実現することができました。音楽室などの「特別教室」への設置も来年度(18年度)で完了します。

町田一中の立て替えも

懸案となっていた町田一中建て替え。市が「統廃合などと一緒に、などとしたために止まっていた問題を追及し、再開させることができました。クラブ活動も町田シバヒコを利用することになりました。



とのむらさんに期待します



▲町田市民文学館

中心市街地の巨大な再開発ではなく、文学館をいかしたまちづくりを願っています。

原町田4丁目
岩崎俊男さん

他市の例も調べ、議会で徹底追及 計画をとめ、町田の財政救済

とくに、現市長が、ホール建設を進めるために、専門家を招いて5回にわたり「座談会」を行ったときには、すべて傍聴などしました。そこでわかったのは、現市長が思っている「都市間競争に勝つ」などという目的を満たすには、近隣にないような巨大施設が必要となり、それを維持するだけでも巨額の費用がかかることでした。とのむらさんは、こうした事実を議会でつきつけ、計画の撤回を要求。市側は見通しすら示すことができず、当初の文化・芸術ホール計画は完全にとんざしました。



5年前、検討対象となった他市のホールの例。左は八王子市のオリックスホール(122億円)、右は川崎市のシンフォニーホール(211億円)

現市政は、5年ほど前、市の中心市街地にコンベンションホールという名の大型ハコモノ建設を打ち出しました。しかし、前回、4年前の市長・市議選で「いらぬ」との審判がくだり破たんし追い込みました。それでも、市長は、文化・芸術ホールと名前を変え、百億円規模の施設をつくらうとしたのです。

現市長が百億円規模の 大型ハコモノ建設うちだす

「小学生だったうちの孫が毎朝、駅でとのむらさんに『おはよう』と言ってもらったそうです。その孫も、もう大学生ですよ」—ある日、こう話しかけられた、とのむらさん。将来世代に悔いを残す大型開発のムダは許さない、との思いを強めます。

とのむら健一
早朝町田駅物語



駅に立ち続ける



市議会の副議長

「毎朝、駅でみなさんにあいさつを続けていると、顔色などちょっとしたことでも、その人の気持ちの変化に気づくようになります」と語るとのむらさん。人の気持ちに寄り添う大切さを、いっそう実感するようになりました。

とのむら健一
早朝町田駅物語

他党からも推されて副議長に

2年ほど前に、とのむらさんは、自民党や公明党などからも推され市議会の副議長に選ばれました。共産党議員が副議長につくのは町田では2人目。現職では、とのむらさんだけです。

市の内外で議会を代表して あいさつ100件以上

副議長となると、議会を代表して、各種の式典や会合に出席することが急増し、多くのところで、あいさつすることになります。あいさつはすでに100件を越えました。各分野でがんばっている市民に出会い、町田への愛情がいっそう強くなりました。



ネルソンマンデラ国際デーであいさつする、とのむらさん

とのむらさんが、あいさつした会合（一部）

- ◆武相マラソンを支援する会
- ◆町田市防犯協会創立 60 周年
- ◆町田ダリア園開園式
- ◆サマーダンスフェスティバル
- ◆町田市障がい者スポーツ大会
- ◆町田シバヒロクリスマスイベント
- ◆まちだ男女平等フェスティバル
- ◆日大三高 壮行会
- ◆町田さくらまつり芹が谷公園開会式
- ◆ネパール・ミカの会総会
- ◆ネルソンマンデラ国際デー

原稿は全部自分で。「良かった」と評判に

あいさつの原稿は誰かが作っているのではーそう思われがちですが、とのむらさんは、自分で作っています。そのため、相手の団体や参加者のことをよく知る必要があります。勉強を欠かしませんでした。

あるとき、保護司の方の叙勲の式典が行われました。実は、とのむらさんは、子どもものときにお母さんが勤めていた養老院で、入所者にかわいがられていました。そのうち少なくとも刑を受け身寄りをなした方々でした。みんな優しく、刑を受けた人も立派に更正できることをとのむらさんは肌でつかんでいました。あいさつでその体験を語り、受刑者の更正、社会復帰に携わる保護司の方の役割に心から敬意の言葉を述べました。あいさつは感動を呼んだと、後から聞きました。

くらし・福祉一番の市政に

共産党・とのむら健一のお約束

- 全員に小学校のように中学校給食実現を
- 学校給食の無償化、市の奨学金拡充
- 国民健康保険税1人年1万円軽減を
- 認可保育園をさらに増設
- 住み続けられる公社・都営住宅を
- 高ヶ坂地域にコミュニティバスを
- 境川の治水対策の強化を



新都議の  池川さんと力あわせ

市民病院の充実へ、一貫してとりくむ



4人部屋の差額ベッドを無料にさせたり、産前産後期の母子医療センターの設置、いったん縮小された小児科の拡充など市民病院充実にとりくんできたとのむらさん。いっそうの充実にとりくみます。

秋田県出身

とのむら健一

雪かきならまかせて

秋田県阿仁町（現北秋田市）生まれのとのむらさん。雪かきは得意です。町田で雪が降ったときは、早朝まず駅前まで雪かきから。通勤する人が来る前に除雪をはじめ、安全に通れるようにします。4年前の大雪のときには、除雪する業者の要望や困っている市民の悩みも聞いて、町田市に緊急申し入れ提案をおこないました。



▲とのむらさんの実家の集落

美術や文学への、強い思い



▶とのむらさんの作品。『ギターを弾く弟』油絵 1976年

市が文学館の存廃を問題にしたときには、町田にゆかりのある文学者の著書を読みあさり、市内でその舞台となった場所も訪ねるなどして、文学館のもつ意味をつかみました。大学で美術を学んだとのむらさん。美術館めぐりが大好きです。好きな歌手はEXILE、ATSUSHI。



日本共産党 とのむら健一

プロフィール

●1954年秋田県生まれ。和光大学人文学部芸術学科卒。●1990年に市議会議員初当選（現在7期目）。党市議団団長。市議会副議長、文教社会常任委員会委員。日本共産党町田地区委員会副委員長。●家族は妻と1女1男。公社町田木曾住宅在住。

とのむら健一の活動地域：木曾団地、町田木曾団地、境川団地、中里橋、森野団地、高ヶ坂団地、原町田、旭町、中町、森野（4丁目を除く）、高ヶ坂、木曾東2～4丁目、木曾西1丁目、本町田一部（藤の台団地のぞく日東団地・みどりヶ丘・蛍ヶ丘・小田急住宅など）、南大谷（南大谷都営のぞく自動車教習所から南側）

新しい町田

号外

2018年1・2月 日本共産党町田地区委員会の見解を紹介します。
発行●新しい町田社 〒194-0022町田市森野3-7-46

とのむら健一
早朝町田駅物語

